



研究概要

音環境計測によって得られる環境音時系列データを利用して、音環境下における人と人とのインタラクションに関して、その**良し悪し**を簡易的に評価できる手法の提案を目指す。

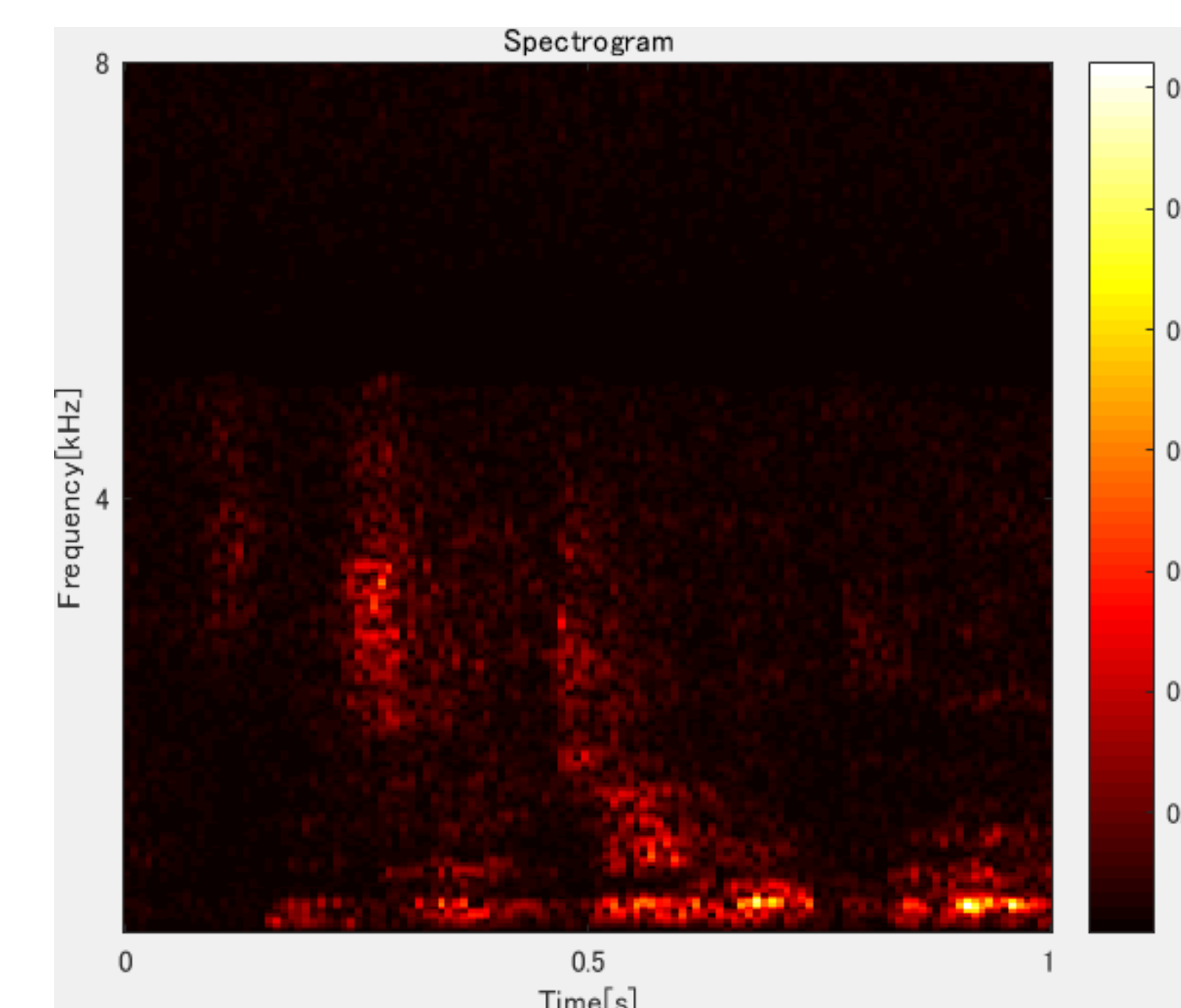
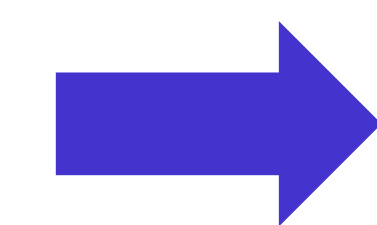


親子間インタラクションPCIT

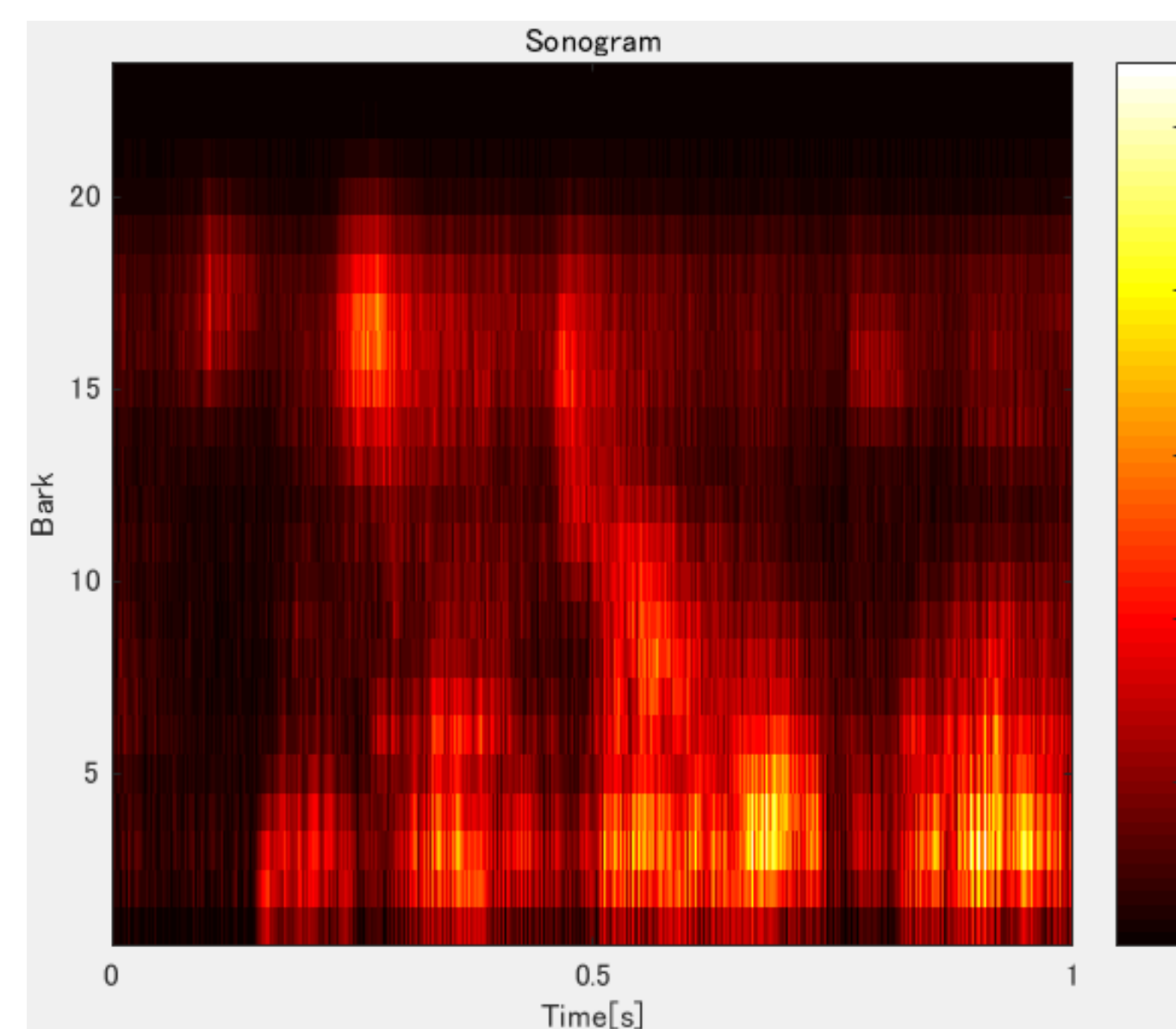
研究の面白さor難しさ

○環境音をどのように取り扱うのか。

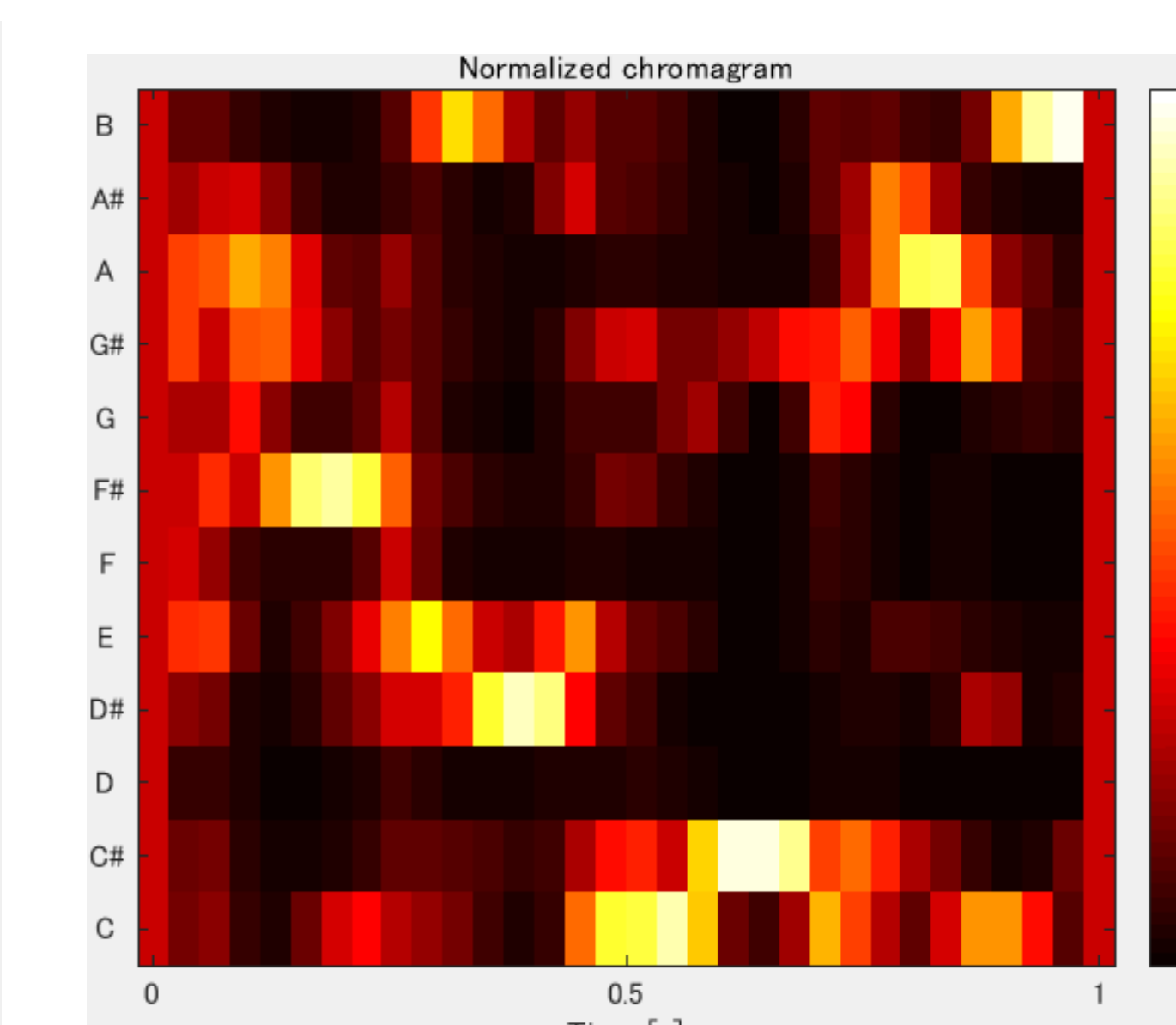
ー生データではなく、環境音から得られる特徴量に変換することを考える。



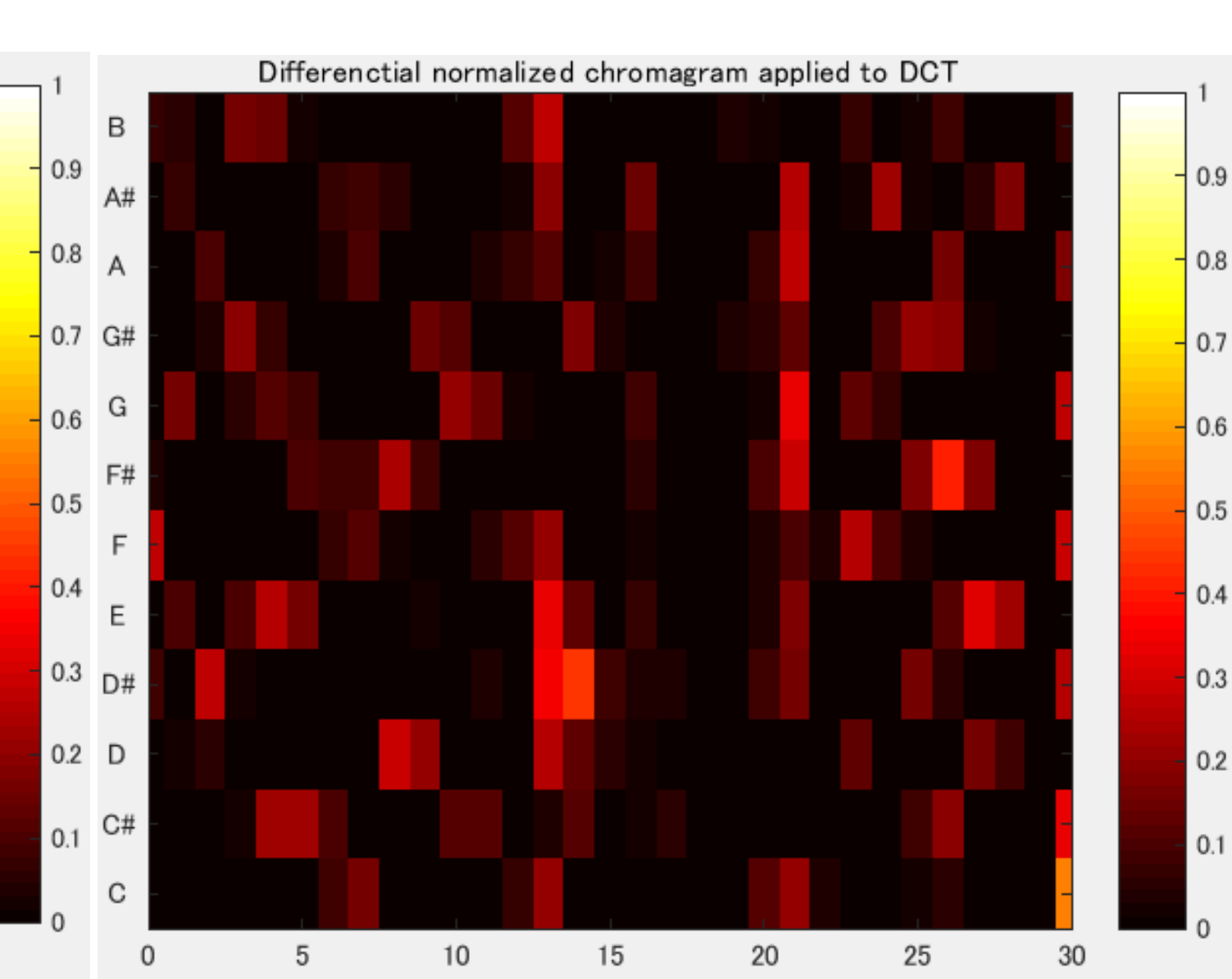
音の高低



音の大きさ

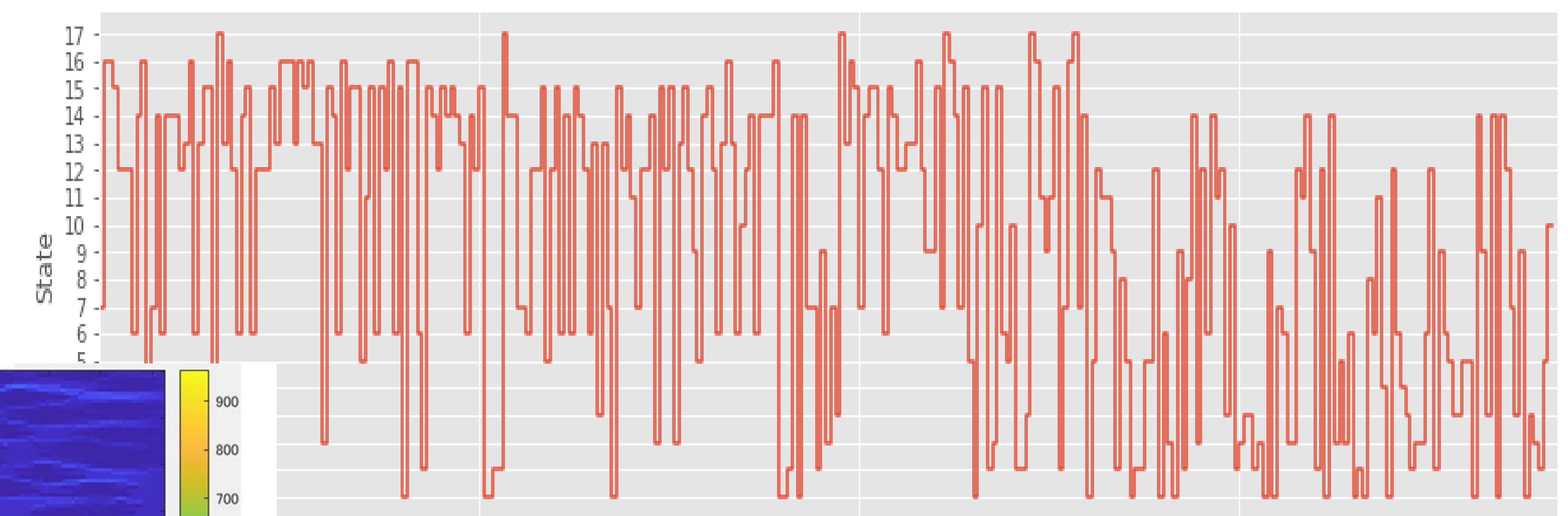


音の調変化



○環境音時系列データをどのように取り扱うのか。

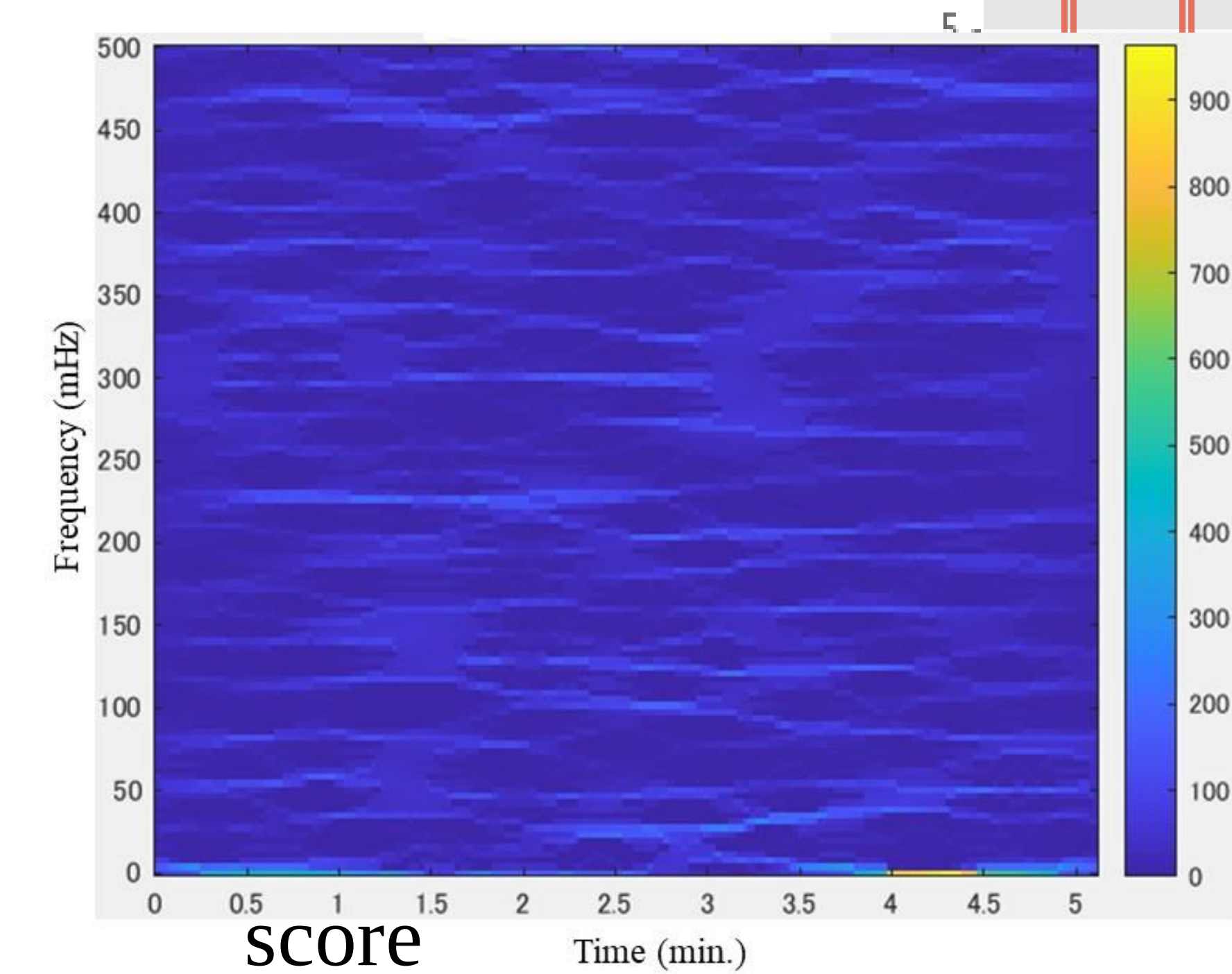
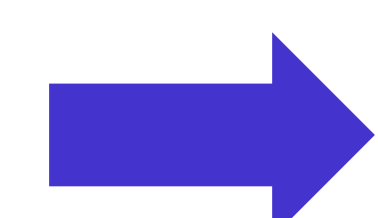
ー環境音から抽出される特徴量の時系列データから特徴量の変化が把握できるモデルを作成する。



特徴量に関する状態遷移モデル

○状態遷移モデルをどのように取り扱うのか。

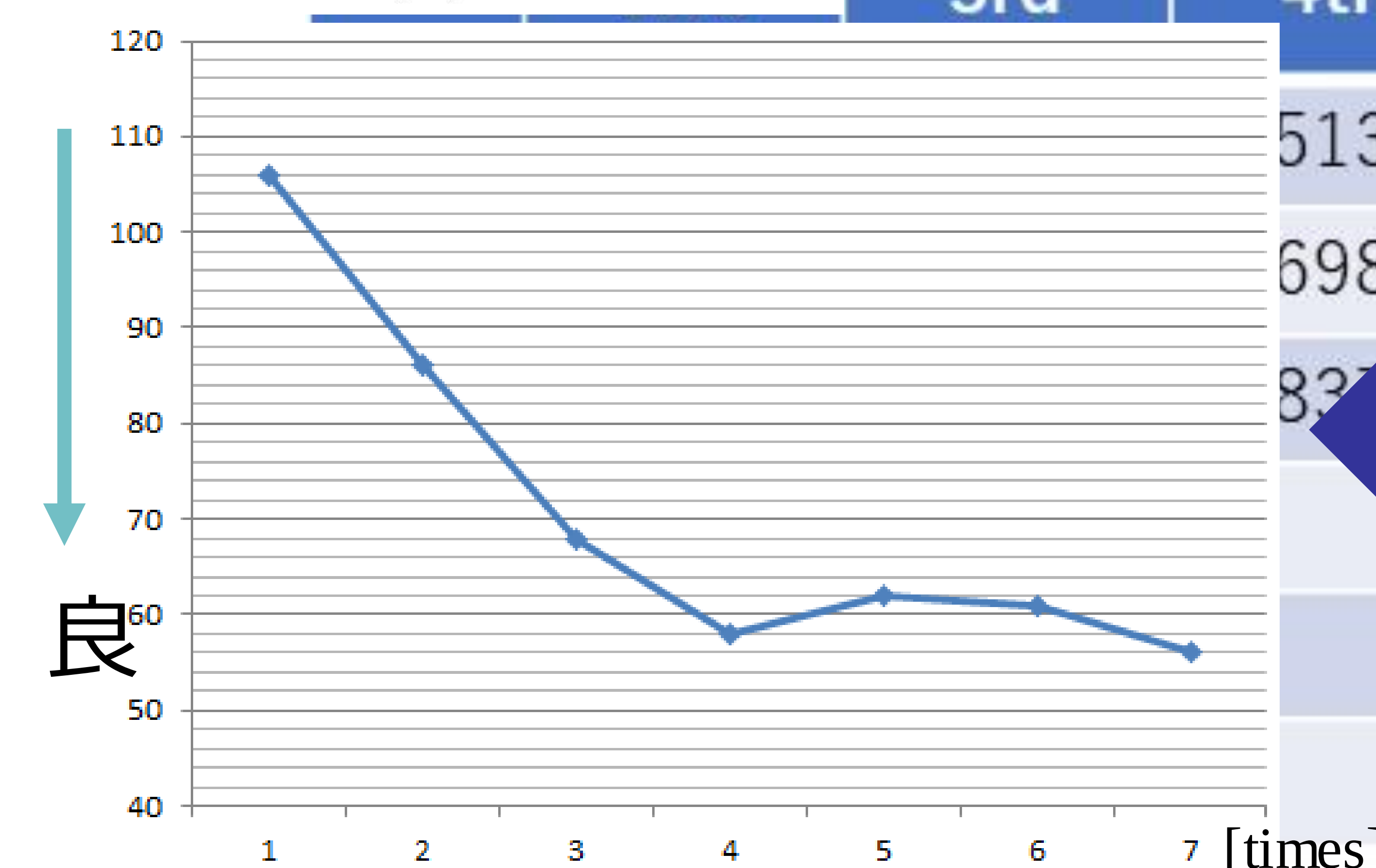
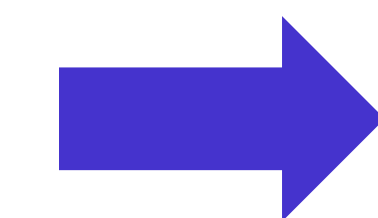
ー状態遷移モデルの特徴量を変動の様子が理解できるパワースペクトログラムから抽出する。



←フーリエシンクロスクイズド変換によって得られる状態遷移モデルのパワースペクトログラム

インタラクションの簡易評価法の提案

ー状態遷移モデルのパワースペクトログラムから得られる特徴量→第1主成分。



良

	3rd	4th	5th	6th	7th
		5137	0.4860	0.4636	0.4595
		6984	0.6983	0.6518	0.6955
		8372	0.8600	0.7217	0.8081
			0.7965	0.7671	0.8024
				0.7507	0.7666
					0.7727

